

北郷里小学校からの報告

水生生物調査結果

調査場所名 (No.)		垣籠町 No.1	春近町 No.2			No.3									
月	日	時	刻	5月31日	11時00分	6月9日	14時00分								
天	気			晴れ		曇り									
水	温	(°C)	22.0 °C		23.0 °C										
気	温	(°C)	26.0 °C		29.0 °C										
川	幅	(m)	1.7 m		1.5 m										
河	川名			春近川(上流)		春近川(下流)									
生物を採取した場所				川の中央		川の中央									
水	深	(cm)	9.0 cm		5.0 cm										
流	速	(cm / s)	40.0 cm/s		30.0 cm/s										
水のようす		指標生物													
I きれい	1	カワゲラ類	○												
	2	ナガレビケラ・ヤマトビケラ クロツツビケラ類													
	3	ヒラタケゲロウ類	○												
	4	ブユ類													
	5	ヘビトンボ類	○												
	6	ガカンボ類													
	7	サワガニ	●		●										
I・II 共通	8	ウスムシ類			○										
	9	2以外のトビケラ類													
	10	3、14以外のカゲロウ類	○		○										
II 少しよごれている	11	ヒラ外ロムシ類			○										
	12	シジミ類	○		○										
II・III 共通	13	カワニナ	●		●										
III よごれている	14	サホコカゲロウ													
	15	ヒル類													
	16	ミスムシ													
	17	モノアラガイ													
III・IV 共通	18	サカマキガイ													
IV 大変よごれている	19	赤いユスリカ													
	20	イトミス類													
	21	ハナアブ類													
水 質 判 定 表	水のようすの区分			I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV
	1	みつかった指標生物の 種類の計 (○+●)		5	3	1	0	2	5	1	0	0	0	0	0
	2	みつかった指標生物のうち 一番数の多くあった種類(●)		1	1	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0
	合 計 (1欄+2欄)			6	4	2	0	3	6	2	0	0	0	0	0
判定結果(合計が最も大きい区分)			I				II								

調査考察、活動内容等

今年度も昨年度に引き続き、4年生全員が総合学習の一環として水生生物調査に取り組みました。毎年同じポイントを調査することで、水生生物の生息の実態から水の汚れ具合を比較することになっています。そこで本校では、今年度も学校の近くを流れる春近川を調査しました。様々な水生生物を発見する楽しさを体験しながら身近な川の状態を推測することができました。

実施したのは、5月31日、6月9日の2回です。学校から北東にある上流地点、南西にある下流地点の2カ所で調査を行いました。



○春近川 上流

5月31日 11時

天気：晴れ

水温：22℃

気温：26℃

川幅：1.7m

水深：9cm

川底：小石と砂

水のおい：感じられない

水の濁り：透明できれい

北郷里小学校から500mほど北東へ上った春近川上流の調査を行いました。春近川は、江戸時代から姉川の水を底樋で引いてきた水が流れています。現在、川の側面は、丁寧に石垣が傾斜をつけてしきつめられ、きれいに整備された川となっています。

発見した水生生物を調査結果表に当てはめながら水の状態を推測していきました。

調査の結果、多く見つかった生物は、カワゲラ類、ヒラタカゲロウ類、サワガニ、カワニナなどでした。水生生物から判定すると、水の状態は、「きれい」と判定できました。

(環境日記より)

- ・サワガニやスジエビがたくさんいました。スジエビは、48匹もいて驚きました。サワガニやスジエビがたくさんいるほど、その川はきれいだと知り、春近川上流はきれいであるということが分かりました。
- ・きれいな川だとカニやカゲロウがたくさんいて、表に分類して春近川上流はきれいな川だと分かりました。きれいな川にしかない生き物がいて、初めて見た生き物も多かったです。



○春近川 下流

6月9日 14時

天気：くもり

水温：23℃

気温：29℃

川幅：1.5m

水深：5cm

川底：小石と砂

水のおい：感じられない

水の濁り：透明できれい



北郷里小学校から300mほど南西に下った春近川下流の調査を行いました。調査地点は、民家の間に流れ、側面をコンクリートや石垣で整備された川です。

調査の結果、多く見つかった生物は、サワガニ、ウズムシ類、ヒラタドロムシ類、シジミ類、カワニナなどでした。水生生物から判定すると、水の状態は、「少しよごれている」になり、パックテストによる水質検査の結果も「少しよごれている水」と判定されました。見た目などでは、きれいな水だと思っていましたが、やはり少しよごれていました。

(環境日記より)

- ・上流と比べると、生き物の種類が少し違いました。同じ川でも上流と下流では、きれいさが変わってくると分かりました。
- ・サワガニもいたけれど、カワニナが120匹より多かったので、よごれていると思いました。調査をする前は、上流よりサワガニの数が少ないとは思いませんでした。
- ・上流より川が少しよごれていて、ほとんどカワニナしかいないように思いました。それは、カニやエビが2匹ずつぐらいだったからです。上流とそんなに距離がないのに、この数のちがいに驚きました。



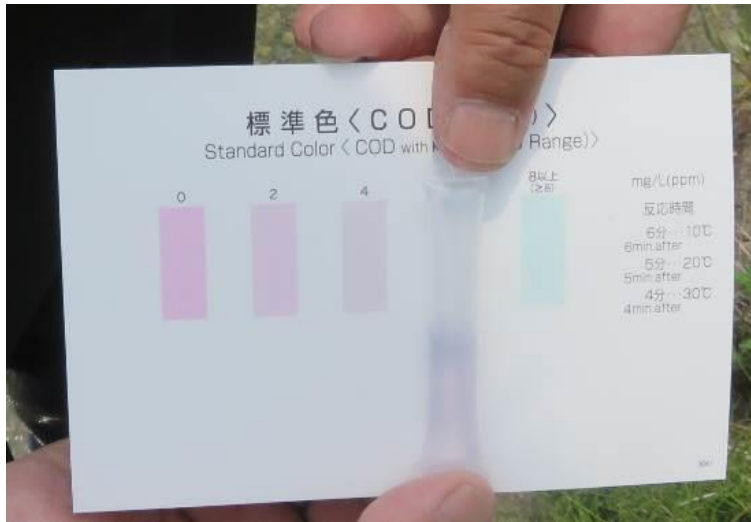
パックテストによる調査

上流、下流の水を採取し、その場所でパックテストによる調査も行いました。この調査方法も子どもたちは興味関心を持って、観察していました。水生生物から、水の状態を調査した後で、試薬を使って、その結果の裏付けをしました。

これは、一つの調査から結果を判断するのではなく、複数の結果から判定結果を導き出すことがより確かな調査方法であるということを学ぶよい機会となりました。

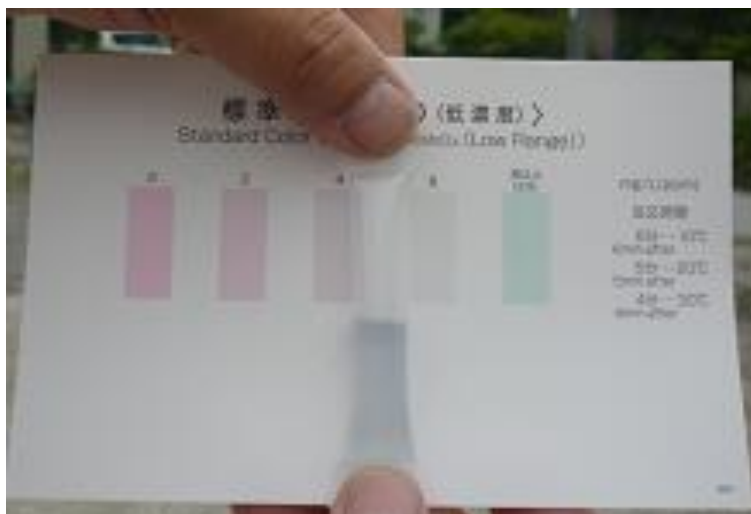
上流の結果

「6」・・・「きれいな水」と判定



下流の結果

「4~6の間」・・・「少しよごれている」と判定



調査してみて（調査隊員の声）

- ・サワガニなど、きれいな水にすむ生物が増える川にしたいと思いました。
- ・これからも、身近な川に関心を持って、美しい水を守っていきたいと思います。
- ・それぞれの川の環境に合った生物がいることが分かりました。